

学生地域おこし協力隊（茨城県筑西市）

取組概要

地域おこし協力隊員の種別を「一般隊員」及び「学生隊員」の2本立てとすることにより、学業と両立させながら現役大学生等の地域活動への参画を図った。

人口 102,612人 (H30.1.1現在)

担当 企画課地方創生推進室

取組の効果

- 応募や問い合わせの増加
- 注目度の向上
- 限られた予算内での人材確保
- 所属大学等への波及効果

創意・工夫した点

学業との両立が可能で、条件さえ整えば現役学生の誰でも応募が可能な「学生協力隊」を制度化した。

他団体へのアドバイス

地域おこし協力隊制度はその運用について自治体に裁量が大きく委ねられている。地域の実情に合わせて柔軟に制度設計をすることで、制度を最大限活用できるのではないだろうか。



地元酒造等と協力して開催した「地酒や地元食材を楽しむイベント」



所有者や地域を巻き込んで開催した「文化財活用についての座談会」